

JA全農 WEEKLY

7面

酪農家と消費者を応援 全国で牛乳を無償配布
「牛乳のチカラを、あなたに。」14会場でキャンペーン(酪農部)

4-5面



チーム青森キッズと軽井沢ジュニアの全日本小学生カーリング選手権大会決勝(6面)



「農協ごはん」を使って7種類のアレンジレシピを紹介した専門学校生(3面)



全国14会場で「牛乳のチカラを、あなたに。」キャンペーン(右上が岩手、右下が宮城、左上が東京、左下が神奈川県川会場=7面)

生産者の営農管理・栽培管理をサポート(耕種総合対策部)

「ZIGIS」「ザルビオ」活用ガイド2022発行

- 2 バスケB1リーグ戦で県産キノコをPR (群馬県本部)
企業と連携して地産地消・活性化キャンペーン(兵庫県本部)
- 3 専門学校生がパックごはんレシピ開発 (米穀部、全農東北プロジェクト)
「ガスト」全店舗で栃木県産「コシヒカリ」(栃木県本部)
- 6 第4回全農杯全日本小学生カーリング選手権大会を開催(広報・調査部)

- 8 「博多あまおう」20周年プレスイベントを開催(福岡県本部)
毎日農業記録賞・メッセージコンクールに協賛(広報・調査部)
JAタウンショップ紹介
正直やまぐち

Web版JA全農ウィークリーはこちら



<https://www.zenoh-weekly.jp/>

『JA全農トピックス』の
ツイッターはこちらから



Web
限定

「みんなで秋田の農業のファンになろう!!」
を開催(秋田県本部)

全農直営飲食店舗で「蔵王チーズフェア」
を開催(フードマーケット事業部)



News!

バスケットB1リーグ戦で県産キノコをPR

群馬クレインサンダーズのホームゲームに協賛

群馬県本部



監修した『ぐんまのきのこ簡単レシピ』を手にする本田朋子さん



PRブースと同協議会マスコットキャラクターのキノッピー

群馬県本部が事務局を務める群馬県きのこ振興協議会は、2022年12月10、11日開催のバスケットB1リーグ戦「群馬クレインサンダーズ」ホームゲームの冠スポンサーになり、県産キノコ詰め合わせ1200セットを無料配布するなど、県産キノコのPRに努めました。

同協議会は「群馬クレインサンダーズ」のオフィシャルパートナーとして、ホームゲームの冠スポンサーとなり「群馬県きのこ振興協議会 Presents ぐんまのきのこスペシャルマッチ」を開催しました。試合の協賛は、消費者との交流と県産キノコの消費拡大を図るため4年連続で実施しています。

「簡単レシピ」と県産キノコ詰め合わせを先着1200人に無料配布しました。

また、県産キノコをPRするブースを会場に設置し、アンケートに回答すると県産キノコが抽選でもらえる企画を実施。さらに「ぐんまの野菜をたくさん食べよう」と題したブースを設置し、野菜のアンケートに回答した来場者に、その場でキャベツやホウレンソウなどの県産野菜を抽選でプレゼントしました。

群馬県本部はこれからも県産農畜産物を積極的にPRし、消費拡大に努めます。

News!

企業と連携して地産地消・活性化キャンペーン

キンビバレッジ、地元こども服「ファミリア」とコラボ

兵庫県本部



キンビバレッジと連携したキャンペーン



ファミリアのオリジナルランチョンマットと県産農畜産物

兵庫県本部のJAタウンシヨップ「あつめて、兵庫。」では、外部企業との連携を通じて、「新たな客層の確保」「兵庫県産農畜産物の認知度向上」「地域活性化」に取り組んでいます。

2021年度から地産地消や地域活性化への取り組みが活発なキンビバレッジ(株)近畿地区本部との連携を始めました。キンビが提唱する「#カレーに紅茶」に賛同し、兵庫のご当地カレーと県産米、県産米のみ殻で作ったカトラリー、そして「キンビ午後の紅茶おい

しい無糖」をセットでプレゼントするキャンペーンなどを共同で開催し、県産米のPRに取り組んでいます。カトラリーはもみ殻を再利用することで持続可能な開発目標(SDGs)にも取り組んでいます。

昨年度始まったベビー・子ども関連ブランド「ファミリア」とのコラボレーションでは、ともに70年以上続く県内企業で、「本当にいいもの・安全安心なものをお届けたい」「地元兵庫を盛り上げたい」という両者の思いがつながり開始しました。今年度もオリジナルランチョンマットの作製や、同社のSDGsイベントで直売所の売れ残り野菜の販売、本会の直営レストラン「神戸プレジール」での特別メニューの提供などを実施しています。

▶▶ 専門学校生がパックごはんレシピ開発

「具材のせてチン！焼いてもよし！」お手軽7種類を試食会

米穀部、全農東北プロジェクト



7種類のアレンジレシピを紹介した専門学校生

仙台スイーツ&カフェ専門学校
の1年生5人が、親子丼やギョーザ、団子など7種類のアレンジレシピを提案しました。パックごはんの上に具材をのせてレンジアップ（電子レンジで加熱）したり、パックごはんを温めずにホットサンドメーカーで焼いたり、パックごはんの

全農は、全農東北プロジェクトが連携している仙台スイーツ&カフェ専門学校に農協シリーズのパックごはん「農協ごはん」を使用したアレンジレシピの開発を依頼し、2022年11月23日に学生によるレシピプレゼン・試食会を実施しました。



「ひと手間かけた、おいしさ。」がキャッチフレーズの「農協ごはん」

全農は、JA全農ラドファと連携し、パックごはんの販売や今回のレシピ紹介などを通じて、国産米の消費拡大を推進していきます。

特徴を生かしたレシピが多くみられました。学生は「忙しい主婦の方や料理が苦手な方でも、簡単に、家にある食材で作れるよう工夫した」と、手軽さとおいしさを求めて試行錯誤したレシピへの思いを語りました。
学生考案のレシピは、パックごはんの販促資材や全農のホームページ、SNS（交流サイト）などに掲載します。

▶▶ 「ガスト」全店舗で栃木県産「コシヒカリ」

期間限定「感動ハンバーグコース」のライスにぴったり

栃木県本部



栃木県産「コシヒカリ」のライスと「感動ハンバーグコース」の料理

栃木県本部は、「ガスト」を展開する株式会社ホールディングスへ約30年間にわたり原料米を供給しています。今回初めて、2022年11月24日から23年1月18日までの期間限定「感動ハンバーグコース」の提供に合わせて、全国のガスト全店舗で提供されるすべての白米が栃木県産「コシヒカリ」100%となりました。

ファミリーストラングアスト」は、有名店シェフと共同開発した「感動ハンバーグコース」を期間限定で提供し、これに合わせ、全国1300店舗を超える全店でライス（白米）が栃木県産「コシヒカリ」となりました。同社担当の石田達也さんによると、栃木県産「コシヒカリ」はつや、食味が評価され、全国の米から「感動ハンバーグ」に最も合う米として選ばれました。卓上のデジタルメニューブック上には栃木県産「コシヒカリ」が使用されていることを明記したほか、画面上でPR動画を流しました。

県本部パールのライスの杉山昌史次長は、「今回の取り組みを契機に、全国の消費者に栃木県産コシヒカリのおいしさを実感してもらい、さらなる消費拡大を目指す」と期待しています。

生産者の営農管理・栽培管理をサポート

「Z-GIS」「ザルビオ」の事例集めた

活用ガイド2022発行

全農は、営農管理システム「Z-GIS」と、栽培管理支援システム「ザルビオフィールドマネージャー（以下、ザルビオ）」の利用促進とさらなる普及拡大を目的に「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2022」を作成しました。各システムのユーザーである全国6カ所の生産者やJAにインタビューを実施し、その活用状況を掲載した事例集です。

【耕種総合対策部】

「Z-GIS」は、圃場ほしやの位置と情報を効率的かつ自由度高く管理することが可能な営農管理システムです。高精細な地図上にマウス操作で簡単に圃場ポリゴンが作成でき、そこにユーザーが登録したい情報をエクセル形式で入力し、ひも付けることが可能です。

「ザルビオ」は、圃場におけるさまざまな情報を解析し、圃場管理における最適な情報を提供する栽培管理支援システムです。人工衛星画像を基に、圃場の地力むら・生育むらを確認でき、人工知能（AI）による生育や病害の予測により、施肥や防除、水管理の判断を支援します。

農業分野では、生産者の減少や高齢化

などにより、労働力不足が深刻な問題となっており、今後、スマート農業を導入した効率的な圃場管理がさらに求められる見込みです。全農では、スマート農業の普及拡大に向け、安価な料金で利用可能な「Z-GIS」と「ザルビオ」をきっかけとし、生産者にその価値を実感いただく取り組みに注力しています。

現在、「Z-GIS」「ザルビオ」は全国的に普及が進んでおり、多くのユーザーが活用し、効果を実感いただいています。ユーザーの活用事例について、北海道から九州まで全国6カ所から収集し、下記CASEとしてガイドにまとめました。

Z-GIS × **xarvio**
FIELD MANAGER
powered by BASF

活用ガイド2022

CASE-1
膨大な圃場管理・オペレーターへの複雑な作業指示をZ-GISで解決！
北海道 JAオホーツクはまなす（株）えみんく

CASE-2
労働時間短縮・作業効率化・経費削減
Z-GISを駆使して経営改善！
岩手県 JAIいわて中央 農事組合法人FS-クルー

CASE-3
精密な肥料コントロールにザルビオを活用した可変施肥で収量アップ！
埼玉県 JAI埼玉みずほ（株）ヤマザキライズ

CASE-4
Z-GIS+ザルビオで、水稲、黒豆の効率的な圃場管理・施肥削減をめざす
兵庫県 JAI丹波ささやま（株）アグリヘルシーファーム

CASE-5
こだわりの米作りに強力な助っ人が登場！良食味米生産をザルビオのAI予測がお手伝い
静岡県 JAIしまね 合同会社サポート小田

CASE-6
水稲に可変施肥を導入し、施肥量を抑制
経営の未来を見据えザルビオの効果を検証！
熊本県 JAIやつしろ（株）アグリ日久

全国で利用農家が拡大中!!
全農

6事例を載せた活用ガイドの表紙

CASE 1
膨大な圃場管理・オペレーターへの複雑な作業指示をZ-GISで解決！（北海道）

CASE 2
労働時間短縮・作業効率化・経費削減 Z-GISを駆使して経営改善！（岩手）

CASE 3
精密な肥料コントロールにザルビオを活用した可変施肥で収量アップ！（埼玉）

CASE 4
Z-GIS+ザルビオで、水稲、黒豆の効率的な圃場管理・施肥削減をめざす

CASE 5
こだわりの米作りに強力な助っ人が登場！良食味米生産をザルビオのAI予測がお手伝い

CASE 6
水稲に可変施肥を導入し、施肥量を抑制
経営の未来を見据えザルビオの効果を検証！

CASE 4
Z-GIS+ザルビオで、水稲、黒豆の効率的な圃場管理・施肥削減をめざす（兵庫）

CASE 5
こだわりの米作りに強力な助っ人が登場！良食味米生産をザルビオのAI予測がお手伝い（島根）

CASE 6
水稲に可変施肥を導入し、施肥量を抑制 経営の未来を見据えザルビオの効果を検証！（熊本）

それぞれのユーザー活用事例について、「Z-GIS」を2事例、「ザルビオ」を3事例、併用を1事例とりまとめ、各事例見聞

き2ページ、計12ページにわたり掲載しています。また、ガイドの冒頭2ページに、「Z-

GIS」「ザルビオ」を導入するユーザーのスタートアップを支援するため、利用登録から圃場・作付け登録までの手順を掲

載しています。さらに、「Z-GIS」については、2022年10月4日に新機能として搭載された、農林水産省が運営するeMAFF農地ナビを活用した圃場登録の方法を掲載しています。「ザルビオ」については、システムの多様な機能について、導入のしやすさに応じた各ステップに分けて紹介しています。

ガイドは、「Z-GIS」のホームページ（お役立ち資料）各種資料）に掲載しています。下記からダウンロードし、閲覧が可能です。

現在、「Z-GIS」「ザルビオ」の入会キャンペーンとして「はじめようスマート農業キャンペーン」を、22年12月1日から23年3月31日まで実施しています。内容は、①「Z-GIS」新規入会者は加入当月を含め最長4カ月間利用料無料（通常は最長2カ月無料）②「ザルビオ」のアクティベーションコードの購入者は「JAタウンクーパー」(最長4000円分)をプレゼントします。



Z-GISの利用開始から圃場登録までの流れ

- HPへアクセス (URLまたは「Z-GIS」で検索)
https://z-gis.net/99/pricing/index.html
- 利用申込 (オンライン、FAX、郵送)
※後日、ID・パスワードがメール送付される。
- ダウンロード
※Z-GIS使用許諾契約書に同意する。
- ID・パスワードが届いたら...
- 起動・ログイン
- 圃場 (ポリゴン) を登録

圃場 (ポリゴン) 登録後の機能

- エクセル上で入力・集計
- 圃場 (ポリゴン) の色分け
- ラベル表示
- 地図の印刷 etc
- 地図とエクセルで振替管理が可能です!

新機能で圃場 (ポリゴン) 登録が簡単になります!

eMAFF農地ナビからダウンロードした農地ピン、筆ポリゴンが利用できます。

- 農地ピン、筆ポリゴンのダウンロード
eMAFF農地ナビ (https://map.maff.go.jp/Farminformation/index/) で、Z-GISに登録したい圃場 (ポリゴン) を画面に表示し、GeoJSON形式を指定してダウンロードします。
- ダウンロードファイルの反映
ダウンロードされた2つのファイル (農地ピン、筆ポリゴン) を同時にZ-GISへドラッグ&ドロップします。
- 圃場 (ポリゴン) 情報の表示
Z-GIS上に地番情報の紐づいたポリゴンが表示されます。

ザルビオの利用開始から作付登録までの流れ

- HPへアクセス (URLまたは「ザルビオ」で検索)
https://www.xarvio-japan.jp/
- アカウント作成
※氏名、メールアドレス、電話番号を入力する。
- パスワード設定
※個人情報保護方針と利用規約に同意する。
- 圃場 (ポリゴン) を登録
- 作付登録 (作物・品種・作付日など)

主な機能

ステップ1

- ✓ 地力マップ (地力カメラを確認し、基礎肥の設計に利用)
- ✓ 生育マップ (生育状況を確認し、追肥の設計に利用)
- ✓ 散布天気 (肥料・農薬散布の最適な日時の判断に利用)

ステップ2

- ✓ 生育ステージ予測
- ✓ 病害リスク予測
- ✓ 施設・水管理の推奨
- ✓ 大豆雑草管理プログラム

ステップ3

- ✓ 可変施肥のためのマップ生成
- ✓ 可変散布のためのマップ生成
- ✓ スマート農機との連携

システム導入方法と各種機能を紹介するページ

Z-GIS+ザルビオで、水稲、黒豆の効率的な圃場管理、施肥削減をめざす

JA農研総合センター 圃場管理システム開発チーム

式場にご活用する現場情報に注目

Z-GISで圃場管理、作業負担が軽減

AGRI HEALTHY FARM

活用ガイドの事例紹介ページ (CASE4)

今ならお得なチャンス! はじめようスマート農業キャンペーン

2022年12月1日 ▶ 2023年3月31日

空撮情報を地図上で可視化!

Z-GIS 全農 営農管理システム

連携可能 xarvio FIELD MANAGER

人工衛星画像とAIで農家の目と頭をサポート!

入会者 (新規のみ) 利用料 最長4カ月 無料

ザルビオ アクティベーションコード 購入者 500名に JAタウンクーパー 4,000円分 プレゼント

申込みは Z-GIS ホームページ または 専用申込書から

「Z-GIS」と「ザルビオ」 両方購入OK

Z-GIS・ザルビオ 初級者向け WEB講習会開催

JA農研総合センター 農薬推進課 TEL03-6271-8274 @z_zk_smart@zennoh.or.jp

「はじめようスマート農業キャンペーン」チラシ



チーム青森キッズと軽井沢ジュニアの決勝戦

試合開始前には、ゲスト参加した、藤澤五月選手（LOCCOSOLAR E）、山口剛史選手（SCC軽井沢）

トップ選手による デモンストレーション

神奈川県横浜市の横浜銀行アイスアリーナで2022年12月25日、「JA全農チビリンピック2022 第4回 全農杯 全日本小学生カーリング選手権大会」が開催されました。全国各地から8チーム約40人の子どもたちが横浜市に集結し、小学生カーリング日本一を目指して熱戦を繰り広げました。

【広報・調査部】

ラブ）、近江谷杏菜選手（フォルティウス）らトップ選手によるデモンストレーションが行われ、間近で見ていた子どもたちはもちろん、保護者から大きな拍手が湧き上がりました。



JA全農チビリンピック2022 第4回全農杯全日本小学生カーリング選手権大会を開催

優勝は軽井沢ジュニア（長野）。トップ選手ら豪華ゲストも参加

が「オリンピック出場」や「大会優勝」などの夢や目標を書いたカードをクリスマスツリーに飾る姿も見られました。

決勝はチーム青森キッズ（青森）と軽井沢ジュニア（長野）が対戦。白熱した試合展開の末、7ー1で軽井沢ジュニアが優勝しました。

大会の様子を後日配信

決勝戦の様子は、ゲストらの解説付きでYouTubeでアーカイブ配信予定です。また、TikTok

もぐもぐブースで 栄養補給

今年も試合前後での栄養補給用に、出場チームの都道府県産のジュースをはじめ、全農ブランド商品などを提供する「もぐもぐブース」を設置。新発売の「農協ミルク」や牛乳を50%以上使用した「抹茶ミルク」、神奈川県産の「湘南ゴールド飲料」などをそろえたブースでは、子どもたちやゲストも笑顔で「おいしい」とほおばっていました。また、休憩中には、子どもたち



藤澤選手、山口選手ともぐもぐブースで記念写真



夢や目標をツリーに飾る子どもたち

優勝		準優勝
軽井沢ジュニア（長野）		チーム青森キッズ（青森）
3位	4位	5位
盛岡カーリングスポーツ少年団（岩手）	名寄協会JC（北海道）	チーム山梨（山梨）
6位	7位	8位
チーム東京（東京）	チームT.O.C.K Jr.（京都・千葉・東京合同）	富山Jr（富山）



YouTube
チャンネルでの配信
「日刊スポーツ」



TikTokでの配信
TikTokアカウント
「チビリンピック」

全農はこれからも、子どもたちの健康づくりやスポーツ選手の育成をサポートしていきます。

副賞はお米とお肉

優勝から3位までのチームには、副賞として岩手県産米「銀河のしずく」や「いわて牛」を、全チームには参加賞として「インスタントごはん」などを贈呈しました。



酪農家と消費者を応援 全国で牛乳を無償配布 「牛乳のチカラを、あなたに。」 14会場でキャンペーン

全農は、牛乳の消費喚起や酪農の理解醸成を目的として、「牛乳のチカラを、あなたに。」キャンペーンを展開し、2022年12月11日に全国で一斉に牛乳の無償配布などを行いました（秋田は12月18日に実施）。【酪農部】



東京会場
JA東京
アグリパーク



岩手会場
イオンモール
盛岡



神奈川会場
Aコープ
城山店



宮城会場
JR仙台駅
自由通路

1万4000本配布

円安やウクライナ情勢などの影響で生乳生産に必要な飼料などの価格が高騰し、酪農経営は過去に例を見ないほどの厳しい状態にあります。また、長引くコロナ禍の影響により、業務用を中心とした牛乳・乳製品の需要も回復していません。

今回のキャンペーンでは、牛乳をたくさん飲んでいただき、消費者も酪農家も元気になってもらいたいとの思いを込めて、全農の関係乳業メーカー（※）と協力して、全国14会場で1万4000本程度の牛乳（200ml）を無償配布し、特製シールのプレゼントなどを行いました。

（※）参画乳業メーカー：協同乳業（広島協同乳業含む）、酪王協同乳業、長野県農協直販、アイ・ミルク北陸、日本酪農協同、四国乳業

関係県本部：岩手・宮城・秋田・福島・神奈川・長野・石川・広島

各会場ともに盛況

東京会場（JA東京アグリパーク）の来場者は900人ほど（同会場の通常来場者数は200〜500人）とにぎわいを見せるとともに、酪農家も参加して消費者との交流

を図る機会となりました。来場者からは、「牛乳を消費して応援したい」などの意見を多くいただきました。また、他会場も同様に盛況となり、テレビや新聞など多くのメディアによる報道を通じて、共感の輪を広げることにもつながりました。

トリビアクイズも

牛乳や酪農への価値などの理解醸成を目的に、特製シールとクイズを作成しました。クイズは、特製シールの二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、楽しんで答えて牛乳の価値などを知ってもらえるよう工夫し、回答者数は1万5000人を超えました（プレゼントの応募は締め切りましたが、クイズは二次元コードからご覧いただけます）。



クイズはこちらから



URLはこちら

<https://www.zennoh.or.jp/milk/milkquiz/index.html>

「博多あまおう」20周年 プレスイベントを開催

福岡県本部と県、JA全農ふくれんいちご部会は、2022年に「博多あまおう」が本格的な生産販売から20年を迎えたことを記念したプレスイベントを11月15日(いい、いちごの日)に、時事通信ホール(東京都)で開催しました。【福岡県本部】

イベントでは福岡県出身の俳優の今田美桜さんを招き、「博多あまおう大使」就任式を行い、今田さんを起用したCMを先行公開しました。

同部会の古賀昭憲県部会長、JAふくおか八女いちご部会の江口成美さんから産地直送の「博多あまおう」



「博多あまおう」をPRする乗富幸雄県本部
運営委員会会長と今田美桜さん

「博多あまおう大使」に
就任した今田美桜さん

が今田さんに渡され、「甘くておいしいです」とコメントしました。

県本部と県、同部会は「博多あまおう」が今後も愛されるブランドであり続けるために、今田さんを起用した20周年記念プロモーションを展開しています。

毎日農業記録賞・メッセージコンクールに協賛

「農」や「食」の思い伝え、 応募数は合計1万4765件

全農は、毎日農業記録賞および第50回記念「農と食への『ひとことメッセージ』コンクール」に協賛しました。2022年12月5日、東京都千代田区の如水会館で表彰式が行われ、受賞者に賞状や盾が贈られました。【広報・調査部】

毎日農業記録賞は、「農」や「食」、「農」に関わる環境への思いを作文で、「ひとことメッセージ」コンクールは、作文とは別に農業の楽しさや明るい未来、農と食への思いなどをキャッ



毎日農業記録賞の入賞者ら

チコピーで表現したものを募集。応募数は合計1万4765件となりました。

全農は協賛を通じて、農や食に携わる人たちを応援していきます。



講評を述べる工藤阿須加さん
(毎日新聞社提供)



JA全農のインターネットショッピングモール

JAタウン ショップ紹介

正直やまぐち

「はなっこりー」は、ブロッコリーと中国野菜のサイシンを掛け合わせてできた山口県オリジナルの野菜。1996年の本格的な栽培開始以来、冬季の緑黄色野菜として県内はもちろん県外にも広がりつつあります。

はなっこりーの特徴は、花も茎も葉も捨てることなく全部食べられること。ほんのりとした甘みがあり、くせのない味で幅広いジャンルの料理に使えるスグレモノです。シャキッとした歯応えと甘みを楽しめる塩ゆでのほか、油炒め、天ぷらにもぴったりです。



【やまぐちブランド】はなっこりー 約1.7kg
……3500円(税込み)

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは shop@ja-town1.com